

教育行政方針



平成十八年第一回町議会定例会の開催にあたり、和寒町教育委員会所管の教育行政執行方針について申し上げます。今日、国際化、情報化、科学技術の進展、更には高齢化、少子化の進行、加えて三位一体の改革など、社会構造はこれから一層複雑に変化することが予想されます。その中にありまして、郷土和寒に

暮らす町民一人ひとりが「健やかで生きがいのある人間性豊かな生活」を営み、ゆとりと潤いのある「心の充実」を実感し、創造的で活力のある生涯学習社会を築いていくことが求められております。教育委員会といたしましては、和寒町の教育の振興を図り、活力ある地域づくりの大きな役割を担っていることを認識し、教育、文化、スポーツなどの振興に、それぞれの持つ施設設備の機能を十分生かしながら、学校教育、社会教育、社会体育の振興を通して、「活力に満ち、心の充実を実感し、健やかに生きる」ことを目標に、多様な学習の形成や、教育機能の充実、活性化を図るとともに、教育環境の整備に努めてまいります。

学校教育

■学校教育の推進

本年度も、ゆとりある、しかも充実した学校生活の実現」を引き続き基本方針と押さえ、次代を担う子どもたちに「心豊かに、たくましく生きる力」を育ててまいります。

そのために、一人ひとりが自ら考え学ぶ主体的態度や創造性を育成するとともに、生命の大切さ、思いやりや感謝の心を養うなど、心身ともに健全で調和のとれた教育の推進に努めます。

■教育課程の編成と実施
ねらいとするところの第一は、「確かな学力」の育成であります。

平成十四年度から新しい学習指導要領のもと、個々に応じた指導の充実を図り、基礎・基本の定着と自ら学び・考える力を育んでまいります。

また、地域の人材や自然・文化を生かした学習やボランティア活動など、多様な人間性を育てるため、特色ある教育課程の編成に努めてまいります。

第二は、「心の教育」の充実であります。豊かな人間性を育てるため、規範意識や社会性、他人を思いやる心など道徳的実践力を育成してまいります。

第三は、「信頼される学校づくり」であります。その基本となるのは評価と公開でありまして、教育活動や学校運営について、学校自らが情報を提供し、地域・父母・学校評議員の意見を経営に生かすなど、地域に開かれた学校づくりに努めてまいります。

第四は、「安心・安全な学校づくり」であります。最近特に学校などにおける大変痛ましい事件が発生し、問題となっております。なかでも児童生徒の通学路での不審者による事件が発生しておりますことから、児童生徒の危機管理から不審者や交通事故・災害などに対する安全教育に加え、教育施設の安全対策をはじめ、何よりも学校・家庭や地域社会が連携して取り組むことが大変重要でありますので、危機管理に万全を期してまいります。

また、第五は「教育力の向上」でありまして、その直接の要となるのは教職員であります。そのため、小中各学校で実施しております公開研究会をはじめ、和寒町教育研究会での小・中・高等学校が連携しての研修、研究会など、教員の資質能力の向上と、授業で勝負する教育の展開に向けて、助言と支援を行ってまいります。

また、引き続き、小学校・中学校が共通の教育基盤に立って、児童生徒の指導に取り組んでいく、一体的な教育の

外国語指導助手派遣事業については、外国語（英語）に



▲1クラス2人の先生が担当するチームティーチング

また、教育ニーズに応じて適切な教育的支援を行うことが必要な児童・生徒に対して、特別支援教育を行っています。

三つは、小学校・中学校の保護者の交流を進める。四つは、学校、家庭、地域が連携して、学校生活環境の充実と安定に努める。などの条件を、サポートしてまいりたいと考えております。

展開を目指すため、一つは、教育課程を通して「確かな学力」の育成、「豊かな人間性を育てる」にかかわり、九年間の見通しに立った教育の実践を進める。二つは、教職員の小学校・中学校連携による研修を推進する。

旧北原小学校の跡地活用につきましまして、今定例会で条

また、小学校の登下校につきましましては、登校は路線バスを利用しておりますが、下校につきましましては、専用バスにより児童の安全を図るため、児童宅を基本に運行することにしてあります。

学校営繕などにつきまして、学校校舎・教員住宅の維持修繕など、要望内容を検討し、所要経費を計上するとともに、和寒小学校・和寒中学校の警備委託を廃止し、警報システムを導入することいたしました。

■教育条件の整備
学校営繕などにつきまして

身に付ける、あるいは協力、感謝、多様な教育的要素が盛り込まれております。今後、学校給食の実現にあたりましては、土別市給食センターよりの配送方式で土別市へ依頼している状況にございます。

触れ、習得する楽しさを味わうなど、本年度も継続してまいります。また、和寒中学校の心の教育相談事業につきましても、継続することとしたところであります。

況にありまして、平成十七年

■和寒高等学校の振興
本年度出願者数は、町内から十一名、近隣市町村から十二名の合計二十三名の出願状況にありまして、平成十七年

また、旧三和小学校・旧中小学校の跡地活用につきましては、それぞれの跡地利用検討委員会での内容については、地域の皆さまへその内容の説明をしてきており、両小学校とも福祉施設としての活用を考慮しておりますが、活用までの維持管理に係る必要な経費は、計上しているところであります。



▲旧北原小学校

例の制定をお願いしてありますが、北原交流展示館として絵画・写真など芸術作品を展示し、芸術文化の振興を図るとともに、あわせて農村地域の交流施設として有効活用してまいります。

今後の振興対策については、振興協議会や高等学校とも十分協議してまいります。が、公立高等学校配置のあり方についての取り組みは、一学年三学級以下の小規模校の取扱は厳しい内容になっており、道教育委員会の公立高等学校適正配置計画によりまして、和寒高等学校も対象高校とならざるを得ない状況下におかれていることから、情報の収集に努め、関係機関とも連携を図り、慎重に協議してまいります。



▲和寒祭 行灯

度入学同様、期待をしているところであります。

学校教育関係の主な事業・・・34,739千円【歳出予算グラフ 教育費】

- 和寒高等学校教育振興協議会補助
- 外国語指導助手招致事業
- 学校管理委託事業
- 学校管理備品整備
- 教育研究関係補助
- 小学校施設整備
- 中学校施設整備
- 小学校1年生入学祝い品贈呈
- 教材備品整備（パソコン借上、教材備品）
- 心の教室相談員配置事業
- 中体連生徒派遣補助
- 心（和寒町教育研究会補助、小・中学校校内研究活動補助、総合的学習補助）
- 【新規】（教員住宅外壁補修、警報システム設置）
- 【新規】（校舎周辺整備、校舎外壁補修、警報システム設置）

社会教育

「生きがいと豊かな心、学びあい、ふれあいの町 和寒」を構築するため、本年度末に策定いたします第六次和寒町社会教育中期振興計画(平成十八年度～平成二十二年)の初年度となりますので、この計画の根幹となります第四次和寒町総合計画(後期推進計画)との整合性を持たせながら、生涯学習の一層の推進を目指してまいります。

公民館事業につきましては、生涯学習活動の拠点として、公民館本館・分館、家庭及び地域社会と連携し、町民の要望に沿った各種講座の開催や、活力ある地域づくりに努めてまいります。

図書館事業につきましては、蔵書計画により充実を図ってまいりました結果、現在七万七千冊の規模となっております。平成十八年度におきましては、図書購入費四百五十万円を計上し、今後も生涯学習の拠点施設として、町民のさまざまな学習意欲を支援するべく、図書資料の充実に努めるとともに、新しい情報の収集に意を用いてまいります。

また、町の広報誌を通して、新刊本の紹介や自主企画

事業の案内、更には保健福祉課との連携により、ゼロ歳児を対象とした「ブックスタート」事業の展開を推進するなど、町民の皆さまがより一層親しみもてる図書館づくりに努めてまいります。

スポーツ振興

町民の皆さまが生涯にわたって広くスポーツに親しむことは、健康の維持・増進はもとより、明るく豊かで活力ある生活を営む上で極めて大切であります。

しかしながら、昨今の少子高齢化社会の進行は、少なからず各種スポーツ事業の開催に影響を来しておりますことから、スポーツ関係機関や団体などと連携を図りながら、誰もが気軽に参加できるスポーツ教室事業の開催や指導者の育成にも努めてまいります。

また、三笠山・運動公園広場



▲パークゴルフ場

両パークゴルフ場につきましては、平成十八年度より無人券売機による料金徴収の形をとりますことから、パークゴルフ愛好会のご協力もいただきまして、適切な運営管理に努めてまいりますとともに、芝管理につきましても最善の努力をしております。

研修館「楡」についてですが、一般開放により宿泊者は前年度と比較しまして、徐々に増えておりますものの、今日的な厳しい経済状況の中にあリましては、スポーツ合宿並びに企業研修控えが顕著に現れておりますが、今後とも足を運び直接面談でPR活動が何よりも大事であると考へております。また、リピーターの確保にも積極的に努めてまいります。

以上で、平成十八年度教育行政執行方針について申し上げますが、行政改革の元年にあたりますので、実効性をふまえながら、本町の教育振興について町民の皆様の期待にこたえるため、関係機関・諸団体とも連携を保ちながら教育行政に最善の努力をいたしますので、町議会議員並びに町民の皆さまには一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

社会教育関係の主な事業

- 生涯学習推進事業・・・6,893千円【歳出予算グラフ 教育費】
(公民館講座・青少年育成リーダー養成研修・新規就業者のつどい・成人式・女性大学セミナー・三笠山大学・児童生徒作品展・公民館分館活動支援・文化財の保護・国際交流の推進・社会教育委員会社会教育指導員配置など)
- 文化活動推進対策・・・7,432千円【歳出予算グラフ 教育費】
(ホール自主企画事業・北海道移動小劇場・芸術文化公演・町民文化祭・片栗庵町民のつどい・文芸和寒の発行、文化関係指導者養成補助、【新規】北原交流展示館設置運営 など)
- 図書館事業・・・6,050千円【歳出予算グラフ 教育費】
(図書視聴覚資料整備、読書普及促進)

スポーツ振興関係の主な事業

- スポーツ振興推進事業
(各種大会、スポーツ教室、合宿誘致活動、地域学校開放、体育協会補助など)
- B & G少年の船派遣事業
(海洋体験クルーズ3名・海洋体験セミナー3名)
- スポーツ指導者養成事業 (新規資格取得補助)
- スポーツ施設整備事業
(スポーツ関係施設管理他委託、総合体育館及び研修館「楡」備品、三笠山・運動公園両パークゴルフ場券売機防護カバー設置)

・・・51,655千円【歳出予算グラフ 教育費】
給 与 【歳出予算グラフ 給与費】

特別職 2名・一般職71名・計73名

パークゴルフ場利用料金

| | 1日券 | シーズン券 |
|-----|------|--------|
| 町内者 | 200円 | 3,500円 |
| 町外者 | 300円 | 7,000円 |

※運動広場・三笠山自然公園コース共通
※パークゴルフクラブ貸出 1本200円
シーズン券希望のかたは、縦3cm横2.5cmの顔写真を添えて、教育委員会または総合体育館までお越しください。